



クイズバトルステージで大活躍の澤田モニター(中央)

暑い夏の日差しに、少し強く吹いた風が心地良く感じられた天候の中「えびなふるさとまつり」は行われました。午後3時30分、だれもがわくわくしてしまうみこしが市役所前を練り歩くパレードを開始。このパレードにちよっとだけ親子で参加させてもらいました。久々のみこしにドキドキでしたが、門沢橋みこし保存会のみなさんのご協力でも楽しい体験ができました。各地域のみこしがやぐらの周

みこしはやしに感動

辺に集合し、日没と同時にちようちんに明かりがともされると、「どっこい、どっこい」のかけ声とともに、みこしとはやしの競演開始です。門沢橋のみこしの前ではわらが燃やされ、その上をみこしと担ぎ手が通ります。「みそぎの義」といって、炎の上を通るみこしには水がかけられます。これは、昔相模川にみこしを担いで入り、ぬれたみこしと体を温めるためにわらを燃やした名残だとか。伝統あるみこしやはやしに、

2つのまつりに12万人 第25回えびなふるさとまつり & 第16回海老名市青年の祭典

7月30日、第25回えびなふるさとまつりと第16回青年の祭典が市役所周辺を会場に行われました。当日は真夏の日差しが照りつける中、約12万人の来場者でにぎわいました。その様子を2人の広報モニターにレポートしていただきました。

広報モニターレポート



夜空を彩る花火

若者と一緒に楽しい汗

今年の「青年の祭典」はどんな祭りになるのだろうか?と思いつつ、市役所前の会場に着くと、「市民吹奏楽団」の演奏などで会場はすでににぎわっていた。祭典の本部を訪ねると、実行委員長の富岡さんを先頭に委員のみなさんが赤いTシャツに「スタッフ」と書かれたそりいのユニフォームで駆け回っていた。スタッフの一人に祭典の準備のことをお聞きしたところ、大会を実行するために今年の2月から打ち合わせに入り、スタッフ38人で今日の運営のため備えてきたとのことであった。「自分たちで企画・運営・実行」しているそうで、しっかりと若者が汗を流しながら頑張っている様子がかがえた。

私と妻は「クイズ!バトルステージ」に参加。どうせ第1問の問題を答えられないだろうと思っていたら、見事予選を通過して決勝に進むことができた。決勝は文字通りステージ上で行われ、まさかと思っていた優勝



みこし練り歩きに参加する神部モニター(右)



はやしのちやうちんが祭りを演出

マナーを守って正しく飼育

犬を飼うときは、その習慣・習性を理解し、周囲に迷惑や危害をおよぼさない心配りと良いしつけが大切です。近隣の人からも理解を得られるよう、責任をもって次のことを守り、正しく飼育してください。

- ①犬のふんは、必ず飼い主が持ち帰ってください。
- ②犬の放し飼いは、かみつき事故などの原因となり、とても危険です。昼夜を問わず鎖などでしつけたりしないでください。
- ③犬のほえ声は、他人にはとてもうるさく、大変迷惑です。むだほえの原因としてストレスや、しつけの問題が考えられます。散歩をさせるなどしてストレスがたまらないように注意してください。

◎犬の飼育に関する苦情・飼育相談 神奈川県動物保護センター(☎0463・58・3411)。

つくってあそぼう

★9月の指導内容 夏の思い出 打ち上げ花火マシンをつくらう、その他遊べるおもちゃ
★幼児は、安全上保護者同伴でお願いします。
▷問い合わせ 青少年会館(☎231・9787)。



子育てシリーズ(27)

講座「上の子下の子真ん中の子」より①



●9月の日程・移動サロン・園庭開放・土曜サロン・すくすく講座●		
移動サロン (午前9時45分~11時30分)	市立保育園園庭開放 (雨天中止)	すくすく講座について お腹の中に赤ちゃんがいる時から「子育て」は始まっています。大切な赤ちゃんのために講座を開催します。 日時 9月2日(土)午前10時~11時(9時30分受付開始) 場所 保健相談センター3階 内容 「こんにちは=あかちゃん」 講師 杉浦正明先生(子育て支援センターアドバイザー) 実技 保健婦による「おむつ交換・沐浴」の指導
1日(金)=中新田コミセン 4日(月)=下今泉コミセン 6日(水)=本郷コミセン 8日(金)=大谷コミセン 13日(水)=杉久保コミセン 18日(月)=海老名運動公園(野外サロン)。雨天時は社家コミセン 20日(水)=上今泉コミセン 22日(金)=柏ヶ谷コミセン 27日(水)=国分コミセン 29日(金)=河原口自治会館 ※15日(金)門沢橋コミセンはお休みです	門沢橋・下今泉・中新田・勝瀬(毎週水曜日) 柏ヶ谷(第1・第3水曜日) 時間 午前9時30分~11時	
	土曜サロン	
	日時 9月16日(土)午前9時30分~11時30分 場所 子育て支援センター 内容 「手形を取ろう」かわいなお子さんの手形を取りましょう。お父さんどうぞ。	

☆車でのご来場はご遠慮ください。☆ボランティア募集中。詳しくは同センターへ。

問い合わせ

子育て支援センター ☎233・6161

初めての赤ちゃんは、誕生してから周りの人たちの愛情をたくさん受け、すくすくと成長していきます。お母さんは赤ちゃんの動き一つ一つに笑ったり、驚いたり、泣いたり、泣いているときにはどうしていいのかわからないでしまう事もあるかもしれません。おぼあちゃんや先輩ママにいろいろと尋ねたり、育児書とらめっこしたりします。そんな初めての赤ちゃんもいつかは「お兄ちゃん・お姉ちゃん」になるかもしれませんね。

一人の子の時は、両親の愛情を独り占めですが、下の子が出来るようになってくると、下の子が生まれると、下の子が生まれると、双子を